

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 金沢市立小坂小学校
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）
所在地 〒920-0811 石川県金沢市小坂町中142番地
E-mail kosaka-e@kanazawa-city.ed.jp
Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/kosaka-e/
幼児児童生徒数 男子 362名 女子 324名 合計 686名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

基本的な考え方

自ら考え、判断し、行動する児童の育成をめざして、これまで取り組んできた地域、自然環境、伝統文化についての実践を発展させ、身近な人やものとのかかわりや体験活動を通して、持続発展教育の実践に取り組んでいく。

3年生「めざせ！和菓子はかせ！」

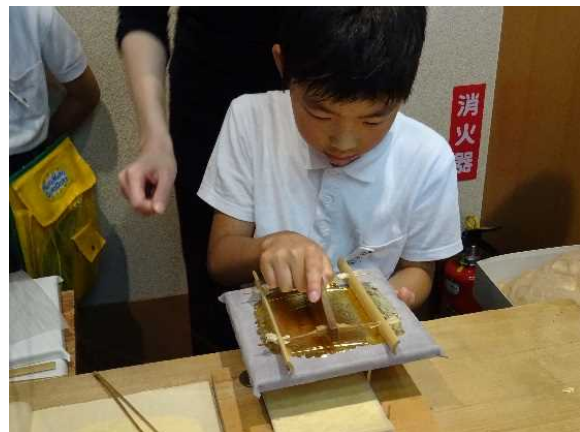
金沢には和菓子屋さんも多く、和菓子の消費量は日本一である。また、小坂校区にも和菓子さんがいくつもある。子どもにとっては、身近な存在ではあるが、詳しく分からないものでもあった。〈どんなときに和菓子を食べているかな〉、〈どうしてこんなにたくさんの和菓子が食べられているのだろう〉という課題意識から学習が進み、「どんな和菓子があるのか」、「行事と和菓子の関係」などを調べていくこととした。また、実際に上生菓子を食べることを通して、和菓子のおいしさや見た目の美しさに感動し、「どうやって作るのか」に興味を持つこととなった。そして、和菓子職人をゲストティーチャーとして呼びし、和菓子作りを体験した。職人さんの技を見て、真似しながら和菓子を作ることを通して、和菓子作りの楽しさや難しさ、職人の技の高さを感じることができた機会となった。



これらの学習を通して、地域には素晴らしい文化があることを実感することができた。また、職人さんや和菓子と関わることで、地域への愛情と誇りを持つことができた。

4年生「金沢の文化を身近に感じよう」

4年生は、「伝統息づくまち金沢」の文化をもとに金沢を学び、考えた。近年北陸新幹線開通を機に、金箔箔が多くメディアで取り上げられている。子ども達の関心が高い金箔箔だが、それぞれの家庭にも金箔箔などの形で取り入れられていることに驚いていた。そこで、箔座へ行き、職人の技を見学すると共に、インタビューを通して、金箔の材料・行程・用途や種類・今後の課題などを学ぶことができた。そして、華やかな金箔箔が和紙や漆器などともつながり合っていることから、他の伝統工芸品についても追求し、新聞にまとめた。これらの活動を通して、長い歴史とそれを受け継いできた職人の技に支えられた金沢の伝統工芸品を誇りとこれからも伝統を守りたいという心をもつことができた。



5年生「金沢の食文化を調べ知る」

金沢市の食文化として、大きく3つについて調べ、それを基に自分たちの食生活や地産地消について考えた。その3つは、「加賀野菜」「小坂レンコン」「郷土料理」である。特に、小坂地区は今なお小坂レンコンを栽培している農家も多く、身近にある食物である。そこで、調べるだけでなく、中庭のレンコン田で、実際に栽培を体験しながら、学習を進めた。味、栄養、歴史、調理方法、栽培地域など様々な特徴を調べ、小坂レンコンのおいしさの秘密は、土や水、鍬掘りにあることに気付くことができた。地域の農家の方に教えていただきながら、植えたり掘ったりした体験は、土に足を取られ、手探りの作業も多く、児童にとって楽しくもあるがきつい作業であった。しかし、その作業にかけた時間と手間が味につながり、食べる人に喜んでもらえるレンコンになることを学ぶことができた。そして、小坂レンコンのおいしさの秘密や栄養、調理方法といったことを、バザーで地域の方々に発信することができた。



さらに、社会科でも学習してきた地産地消について、5年生の保護者の方の協力を得ながら実態調査を行い、地産地消を促進する取り組みを調べ、金沢の食文化とともにまとめることができた。

(4) 6年生「生きる ～小坂に生きる私たち～」

金沢は、歴史都市第1号に選ばれるなど、歴史的な町並みや建造物が数多く残り、前田利家など、歴史上の人物とゆかりが深い都市でもある。それよりもずっと古い時代に目を向け、<小坂地区の古墳はどのようなものだったか>という課題を持ち、調べた。実際に八塚山古墳群に探検に行く、地元の御所町や公民館の方々が作成した資料を調べる、神谷内古墳群についての説明会に参加するなどの活動を通して、小坂地区の古墳群について理解を深めた。

一連の学習を通して、児童は古代の小坂の歴史について知ることができたと同時に、地域の素晴らしさと愛着を持つことができた。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(休日)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

金沢市観光調査報告書 金沢市ホームページ 金沢市観光協会ホームページ のびゆく金沢 Sounds Good Jump こども金沢市史 偉人に学ぶ金沢 「絆」教育 金沢の偉人 東山寺院群パンフレット「心の道」

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

国語科、社会科、算数科、道徳、英語科の教育課程と関連づけた ESD カレンダーの作成

課題解決型の授業スタイルの実施

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

各学年の生活科・総合的な学習の担当者による実践の交流とアドバイス（学期に1回程度）

ESD カレンダーの加筆修正（学期に1回）

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

教員と児童によるアンケート形式の評価

成果 目的意識を持った表現活動が増えてきている。

課題

- ・ ESD カレンダーをもとに総合的な学習の時間と他教科とのさらなる関連を図り、実践を重ねることで活動を精選していく。
- ・ 学習して学んだことを学校の児童だけでなく、保護者、地域の人を対象に様々な形態で発信することで、学びを確かなものにしたり表現力を高めたりする。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

新聞 説明会
・身近な地域、自然、金沢の伝統文化や歴史を体験し発信したことで、児童は興味関心や追求意欲を持って活動に取り組んだり、身近な地域や自然に対して愛着を持ったりすることができた。
・職人さんや農家の方、その道に通じる方などのゲストティーチャーとの交流を通して、児童はゲストティーチャーの技や思いなどを間近で体験したり、実感したりすることができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)
※チェック事項 2-3 に対応

金沢星稜大学 小坂公民館

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)
※チェック事項 2-4 に対応

今年度はなし
近隣の小学校と活動内容の交流を計画した。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調した

い) 内容 (例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化) (200字程度)
※チェック事項 2-5 に対応

積極的な教材開発 発信方法と相手の開発 保護者とのつながりの深まり

(3) 平成 30 年度の活動計画 (200~400字程度)

1 年生 「むかしあそびをたのしもう」
地域のお年寄りをゲストティーチャーとして迎えし、伝承遊びを体験する。

2 年生 「ときどき わくわく まちたんけん」
地域にあるお気に入りの場所を探検する
「もっと なかよし まちたんけん」
校区の公共施設や様々なお店を探検し、働く人の願いを知る。

3 年生 和菓子体験
4 年生 金沢の伝統文化
5 年生 加賀野菜
6 年生 金沢の歴史 地域の昔・今・未来